

# 山陰経済

経済情報は本社経済部へ

TEL0852(32)3330

工場や土木現場の排水処理業のネオナイト(松江市富士見町)が、被災地の復興を支援したい」と決意を新たにしている。

開発した放射性物質の除染剤が、福島県の工

コ・リサイクル製品の認定を受けた。福島第

1原発事故の影響を受けた地域が立ち直るに

は、除染が不可欠。寺山文久社長は「島根発

天然鉱物のゼオライトなど無機系材料を使った水処理剤を開発し、

2009年に分社化して独立した。

ゼオライトが放射性セシウムを吸着すること

とはかた、専門家の間では広く知られて

いた。ネオナイトも老朽化した原発を廃炉にする

必要が生じた際、ビ

ジネス展開できるよ

う、将来に向けた対応

を検討してきた。

しかし、11年3月に

福島第1原発事故が発

行錯誤する中、同社は

携し、除染剤の製造を

済に対し、「雇用を生

る石炭灰を加えた。

13年6月には、同県

広野町で現在の5倍の

日量5tを製造できる

工場を稼働させる。

認定という「お墨付

## 直撃 経済人 <53>

ネオナイト社長  
寺山 文久さん



「島根発の技術で、福島県の復興を支援したい」と語る  
寺山文久社長―松江富士見町、ネオナイト

### 島根発技術で復興支援

てらやま・ふみひさ 松江市出身。東海大工学部を卒業後、父が経営する浄水機器販売会社入り。社内ベンチャーを経て、2009年にネオナイトを設立。松江市在住。43歳。

「あくまでも、主体は『福島』。できるだけ、現地の資材や人材を使ってサポートしたい」。経済活動を通し、被災地を支える。  
(経済部・勝部浩文)

培った技術を直ちに応用。背景には「現地発機構が募集した除染技術の実証試験事業で、「即適用」との高地元の企業への委託によって、迅速な展開が可能になるだけではない。島根県産のゼオライトに、福島県内の火力発電所から出る石炭灰を加えた。

「即適用」との高地元の企業への委託によって、迅速な展開が可能になるだけではない。島根県産のゼオライトに、福島県内の火力発電所から出る石炭灰を加えた。

13年6月には、同県広野町で現在の5倍の日量5tを製造できる工場を稼働させる。

認定という「お墨付き」も相まって、13年度の社の売り上げは11年度の8倍前後を目指す計画。その伸びは除染作業、復興への歩みの進展を意味する。